

## 4. クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金

### ／充電インフラ整備事業の実施状況

講師：一般社団法人次世代自動車振興センター

副事務局長兼充電インフラ部長 関口 明彦 様

<概要>

昨年、この研修会場で、「次世代自動車の最新動向と充電インフラ補助金について」と題して、お話させていただいた。今回は、充電インフラ整備補助に絞ったお話をしたい。

#### 【次世代自動車振興センターについて】

まず、当センターの概要をご紹介する。財団法人日本自動車研究所の一部署「電動車両普及センター」が2007年に独立し、その後、2009年に現在の「一般社団法人 次世代自動車振興センター(NeV)」となった。

主たる業務は以下の三つである。

事業	内容
「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」事業	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車、クリーンディーゼル自動車、外部給電器、V2H充放電設備の購入者に補助金交付。
「電気自動車・プラグインハイブリッド自動車の充電インフラ整備事業費補助金」事業	電気自動車、プラグインハイブリッド自動車の普及拡大を図るため、自動車用充電設備の設置者に補助金交付。
「燃料電池自動車の普及促進に向けた水素ステーション整備事業費補助金」事業	燃料電池自動車等の早期普及を図るため、水素供給設備の整備を行う者に補助金交付。

#### 【充電インフラの概要について】

ここで、当センターの充電インフラ特設ページ([https://www.cev-pc.or.jp/lp\\_evphvcharge/](https://www.cev-pc.or.jp/lp_evphvcharge/))をご紹介する。充電インフラのことを基本的な内容からお知りになりたい方は、是非、ご覧頂きたい。

一般社団法人  
次世代自動車振興センター

充電インフラ補助金サイト



内容としては、①EV・PHVと充電インフラの現状、②補助金について、③集合住宅への設置④動画・事例を見る、⑤パンフレット・チラシとなっている。加えて、充電設備設置を検討されている方々への充電サービス事業者に関する情報提供を行うことを目的として、充電サービス事業者一覧表を掲載している。

【充電インフラ補助金事業(予算)について】

標記補助金については、まず、令和3年度補正予算における実績を振り返る。同補正予算における「クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金」の概要は下記の通りである。その内、充電インフラ関連は予算額65億で、前年比5倍の規模となっていたところ、民間事業者の高い投資意欲もあり、前倒しで申請受付を終了した。

## R3年度補正予算について (充電インフラは前年比予算5倍)

### クリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金

令和3年度補正予算額 375.0億円

(1) (2) 製造業等 自動車

(3) 資源エネルギー庁  
省エネルギー・新エネルギー一部  
水素・燃料電池戦略室

事業の内容	事業イメージ			
<p><b>事業目的・概要</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、環境性能に優れたクリーンエネルギー自動車の普及が重要です。早期に電気自動車や燃料電池自動車等の需要創出や車両価格の低減を促すと同時に、車両の普及と表裏一体にある充電・水素充てんインフラの整備を全国各地で進めることが喫緊の課題です。</li> <li>本事業では、導入初期段階にある電気自動車や燃料電池自動車等について購入費用の一部補助を通じて初期需要の創出・量産効果による価格低減を促進します。</li> <li>また、電気自動車やプラグインハイブリッド自動車の充電設備等の購入費及び工事費、水素ステーションの整備費及び運営費を補助します。</li> </ul> <p><b>成果目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「グリーン成長戦略」等における、2035年までに、乗用車新車販売で電動車100%とする目標の実現に向け、クリーンエネルギー自動車の普及を促進します。</li> <li>また、車両の普及に必要な不可欠なインフラとして、充電インフラを2030年までに15万基、水素充てんインフラを、2030年までに1,000基程度整備します。</li> </ul> <p><b>条件 (対象者、対象行為、補助率等)</b></p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="border: 1px solid black;">国</td> <td style="border: 1px solid black;">民間団体等</td> <td style="border: 1px solid black;">購入者、設置事業者等</td> </tr> </table>	国	民間団体等	購入者、設置事業者等	<div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">(1) クリーンエネルギー自動車導入事業</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>電気自動車</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>プラグインハイブリッド自動車</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>燃料電池自動車</p>  </div> </div> <p style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">250億</p> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">(2) 充電インフラ整備事業</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>急速充電器</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>普通充電器 (スタンド型)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>普通充電器 (コンセント型)</p>  </div> </div> <p style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">65億 + 約40億 (V2H)</p> <div style="background-color: #0070c0; color: white; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">(3) 水素充てんインフラ整備事業</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>【小規模】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【中規模】</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【大規模】</p>  </div> </div> <p style="text-align: right; color: red; font-weight: bold;">60億</p>
国	民間団体等	購入者、設置事業者等		

そこで、政府としてもインフラの整備支援を継続・拡充していくべく、令和4年度補正予算では、後記の通り「クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充てんインフラ等導入促進補助金」の増額が行われており、「充電インフラ整備事業等」と「水素充てんインフラ整備事業」を合わせて、全体で200億円が計上されている。更に、令和5年度当初予算案では、100億円が計上され、合計で300億円となった。これは、上記項目について令和3年度補正予算に計上された額にV2H関連予算を加えたものと比較すると、約2倍弱の規模となった。

# クリーンエネルギー自動車の普及促進に向けた充電・充電インフラ等導入促進補助金

製造産業局自動車課  
資源エネルギー庁  
省エネルギー・新エネルギー部  
新エネルギーシステム課

令和4年度補正予算案額 **200 億円**

事業の内容	事業スキーム (対象者、対象行為、補助率等)
<p><b>事業目的</b></p> <p>2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、環境性能に優れたクリーンエネルギー自動車の普及が重要です。車両の普及と表裏一体にある充電・水素充電インフラの整備を全国各地で進めることを目的とします。さらには、災害による停電等の発生時において、電動車は非常用電源として活用可能であり、電動車から電気を取り出すための外部給電機能を有するV2H充電設備や外部給電器の導入を支援します。</p> <p><b>事業概要</b></p> <p>(1) 充電インフラ整備事業等 電気自動車やプラグインハイブリッド自動車の充電設備の購入費及び工事費や、V2H充電設備の購入費及び工事費、外部給電器の購入費を補助します。</p> <p>(2) 水素充電インフラ整備事業 燃料電池自動車等の普及に不可欠な水素ステーションの整備費及び運営費を補助します。</p>	<p><b>事業スキーム (対象者、対象行為、補助率等)</b></p> <p>(1) 充電インフラ整備事業等 補助 (定額) 補助 (定額, 1/2等)</p> <p>国 → 民間団体等 → 導入者、設置事業者等</p> <p>(2) 水素充電インフラ整備事業 補助 (定額) 補助 (2/3, 1/2)</p> <p>国 → 民間団体等 → 設置事業者等</p> <div style="text-align: center;"> <p>急速充電器   普通充電器 (スタンド型)   普通充電器 (コンパクト型)   V2H充電設備   水素ステーション ※補助対象例</p> </div> <p><b>成果目標</b></p> <p>車両の普及に必要な不可欠なインフラとして、充電インフラを2030年までに15万基、水素充電インフラを2030年までに1,000 基程度整備します。</p>

## 【充電インフラ補助金事業(申請関連)について】

令和4年度補正予算事業における充電インフラ補助の申請受付開始時期は、3月下旬頃を予定しており、今後、当センターのHPに「補助金申請から補助金交付までの流れ」や「申請の手引き」を公表するので、事業の内容、補助対象事業、補助対象経費および補助率等は、同HPで確認願いたい。

又、下表の通り、令和3年度補正予算から、「商業施設を伴わない時間貸し駐車場」や「月極駐車場」も補助対象になっているので、改めてご確認願いたい。

### I-3. 補助率・充電設備 2/2

事業区分	事業	補助率
目的地充電	商業施設及び宿泊施設等	機器購入費: 1/2以内 設置工事費: 定額
	マンション等	R3補正から月極駐車場も補助対象に 機器購入費: 1/2以内 設置工事費: 定額
基礎充電	月極駐車場	
		事務所・工場

R3補正から商業施設を伴わない時間貸し駐車場もOKに

R3補正から月極駐車場も補助対象に

尚、令和3年度補正予算における補助金申請の実績については、現時点で、事業年度の途中なので公表できる数字が無いが、傾向で申し上げれば、前年度比で何倍もの件数となっている。

令和4年度補正予算事業においても、民間事業者が、集合住宅や商業施設などにおいて、普通充電器の整備を大幅に増やしていくと見込んでおり、申請件数の大幅増加が予想されるので、充電インフラ補助申請は、早めの検討・申請をお勧めする。皆様には、補助金を活用するなどして充電器整備を進めて頂けると有難い。

以上